

(別記)

令和2年度牧之原市農業総合支援協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、牧之原台地の南東部に位置し、全耕地面積3,440haのうち水田面積は596ha、割合は17%になる。現在の米の生産については、茶等との複合経営が主体となっており専業農家は少ない。また、レタス等の二毛作により水田を活用している。近年は、後継者不足や生産者の高齢化が進んでおり、農家戸数が減少している。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

生産者が自らの経営判断と販売戦略に基づき、需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減少が見込まれるため、飼料用米の取組を推進していく。今後、主食用米からの転換の促進が課題となってくるため、関係機関との連携により栽培技術を向上させていく。

(3) 高収益作物（園芸作物等）

レタス及びスイートコーンは、水田の裏作作物や、茶との複合経営の栽培作物として積極的に導入し、作付面積の拡大を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	令和3年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	571.0	571.0	571.0
飼料用米	1.7	1.5	1.5
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲			

加工用米			
備蓄米			
麦			
大豆			
飼料作物			
そば			
なたね			
その他地域振興作物			
野菜			
・レタス	136.0	136.0	136.0
・スイートコーン	20.0	20.0	20.0

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				現状値	目標値
1	飼料用米	耕畜連携	作付面積拡大	(元年度)1.5ha	(R3年度)1.5ha
2	レタス、 スイートコーン	高収益作物等の 拡大への取組	作付面積拡大	(元年度)4.3ha	(R3年度)5.3ha

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり